

# NHO小倉医療センターだより 9月号

## — 診療科よりお知らせ —

**小児科** 小児専門外来へのご紹介は、小児科外来で予約(14:30まで)をお願いいたします

\*循環器外来 … 月曜日・水曜日・金曜日 担当医: 山口、中島

\*アレルギー外来 … 火曜日 担当医: 森

\*小児神経外来 … 木曜日 担当医: 緒方

**眼 科** **火曜日・木曜日は手術日のため、10:00で受付は終了いたします**

※緊急手術や外来患者多数の場合、受付の締め切り時間を早める場合がございます

**精神科** **もの忘れ外来 <<完全予約制>>** ※ご予約は、精神科外来(14:30まで)にご連絡下さい

**血液内科** 診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります

**皮膚科** 診療体制の都合上、水曜日は、再来患者様のための診察となります

## — 外来医師不在のお知らせ — (8月24日 現在)

**消化器内科** 村尾 寛之・・・9/13(月)、9/24(金)

山口 裕也・・・9/24(金)

**外科** 山崎 徹・・・9/15(水) 8:30~12:30

**眼科** 浅原 健一郎・・・9/15(水)

福山 文里・・・9/24(金)

**産婦人科** 黒川 裕介・・・9/29(水)

**小児科** 平川 潤・・・9/14(火)

**皮膚科** 木村 七絵・・・9/24(金)



## — 医療従事者研修について —

開催日	内 容 ・ 講 師
9月30日(木) 時間: 19:00~	小倉小児科医会臨床懇話会(Web講習会)

## — 健康教室について —

「糖尿病健康教室」「産婦人科教室」の開催予定はございません



国立病院機構 小倉医療センター 〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

【診療科】 内科、消内、循内、精神科、小児科、外科、整形外科、皮膚科

泌尿器、産科、婦人科、眼科、耳鼻科、放射線科、小児外科、呼内

◆ご紹介・研修に際してのお問い合わせは、地域医療連携室をご利用下さい◆

(病院代表) FAX 093-522-5072 TEL 093-921-8881

(地域医療連携室) FAX 093-921-8892 TEL 093-921-8887(紹介患者専用TEL)



小倉医療センター外来診療担当表

令和3年9月1日現在

Table with 7 columns: 診療科, 月, 火, 水, 木, 金, 備考. Rows include various medical departments like 内科一般, 肝臓内科, 血液内科, etc.

注) : 受付時間 : 午前8 : 30 ~ 11 : 00 (急患については、この限りではありません)

注) : 不在の場合は担当医が変更になることがあります。

注) : 詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

注) : 血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。

◆国立病院機構小倉医療センター◆

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

TEL093-921-8881/FAX093-921-8892 (地域医療連携室)

## 診療科紹介

### 眼科

当科は常勤医3名と九大からの外来応援で診療を行っています。令和3年度は常勤医4名でのスタートになりましたが7月以降は高木医師が退職のため3名となっております。

白内障や網膜硝子体疾患、緑内障などの手術を必要とする疾患から、視神経炎や原田病などの入院加療を必要とする疾患まで幅広く対応しています。手術症例は基本的には入院での手術とさせて頂いておりますが、患者さんのご希望があれば各種手術とも日帰りでも対応しています。糖尿病黄斑浮腫や網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法も積極的に行っています。

いつも症例のご紹介を頂きありがとうございます。新患の受付は予約制にはなっていませんでしたが、現在受診日の予約ができるようになっております。ご紹介を頂く際には、地域医療連携室を通してご連絡を頂くようよろしくお願い致します。外来受付時間内の受診であっても、網膜剥離、緑内障発作、外傷、眼内炎、角膜潰瘍等の緊急手術や入院が必要な症例につきましてはまずはお問合せをお願い致します。コロナ禍の状況もあり、患者さんの待ち時間の短縮や患者同士、医療従事者への接触機会の減少のためにも、ご協力頂ければ幸いです。

ご紹介いただきました患者さんは、治療後、安定しましたら早期にご紹介元の眼科様での経過観察をお願いするようしております。

## 院内チーム紹介

### 褥瘡チーム

褥瘡対策チームは、患者さんの入院生活が快適に安全に過ごしていただけるよう「褥瘡(床ずれ)」に関する治療や予防を目的に活動を行っています。専門的知識を持った外科医師、皮膚科医師、皮膚排泄ケア認定看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士でチーム構成され、「褥瘡」が出来ている患者さんのベッドサイドへ訪問し、褥瘡の評価や処置方法の検討、体圧分散マットレスの見直し、ポジショニングなど患者さんの状況に応じたケアを行っています。「褥瘡予防」にも重点をおいて褥瘡が発生しないケアを病棟看護師と一緒に考えて、体位変換の工夫やスキンケアに取り組んでいます。また、院内勉強会を開催し、院内全体の褥瘡対策のレベルアップを図っています。



褥瘡対策チームメンバー



褥瘡回診

**基本理念** この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します。